

# I . 総括研究報告書

厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)  
総括研究報告書

「全国の医療機関における緩和ケアの実施状況と医療従事者(医師・看護師)調査に基づく  
がん緩和ケアの推進に関する研究」

研究代表者

加藤 雅志 国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援部 部長

研究要旨 本研究の目的は、1) 全国医療者調査と施設調査を実施し、がん診療連携拠点病院(以下、拠点病院と示す。)とそれ以外の病院の比較を行い、施設の状況に応じた緩和ケアの課題を明らかにする。また、都道府県別の緩和ケアの状況を明らかにする、2) がん対策緩和ケアの評価指標の推移を計測するとともに、目指すべき目標値の設定について検討を行うことである。本研究では、①医療者(医師・看護師)を対象とする緩和ケアに関する全国調査、②全国の施設を対象とする緩和ケア提供体制に関する全国調査によって、先行研究結果からの経時的变化を検証するとともに、都道府県別・施設種別の違いの検証を試みた。また、③がん対策の評価指標について、政府統計や各協力機関等からデータを収集し、推移を検証した。また、研究者間で目標値の設定について議論を行い、目標値の設定に関する議論を行った。

医療者調査・施設調査は現在集計作業中である。がん対策評価指標は、今後も継続して指標の推移を観察する。また、目標値の設定が可能な項目については、検討を進めて行く必要がある。

## A. 研究目的

わが国では、緩和ケアを推進するために様々な施策が実施されてきた。先行研究において、全国の医療者の緩和ケア変化を明らかにしたが、都道府県別や施設の状況別の分析が課題となっている。本研究の目的は、1) 全国医療者調査と施設調査を実施し、拠点病院と非拠点病院の比較を行い、施設の状況に応じた緩和ケアの課題を明らかにする。また、都道府県別の緩和ケアの状況を明らかにする、2) 緩和ケア評価指標の推移を計測するとともに、目指すべき目標値の設定について検討を行うことである。わが国では、これまでががん対策として「緩和ケアの推進」が進められ、全国で様々な施策は実施されてきた。先行研究「がん対策における緩和ケアの評価に関する研究、研究代表者：加藤雅志(H25-H26)」では、2015年に医師・看護師の緩和ケアに関する全国調査を実施し、2008年からの変化を明らかにした。一方で調査により、拠点病院以外の医師・看護師の緩和ケア知識・実践は十分ではないことが示された。

しかしながら、拠点病院以外の施設の緩和ケアの取り組み状況に関する課題を明らかにするとともに、都道府県別の施設の取り組みの状況を明らかにすることが課題となっている。

本研究の目的は、施設の全国調査を行うことによって、全国の緩和ケアの取り組み状況を把握するとともに、都道府県別・施設種別による取り組み状況の違いを明らかにする。

なお、本年度は拠点病院を対象に調査を実施した。

## B. 研究方法

### 1) 医療者(医師・看護師)調査

医師・看護師の緩和ケアの知識・困難感の経時的变化・都道府県別および施設種別による違いを検証するため、医師35000名、看護師24000名を対象に、自記式質問紙調査を行った。

### 2) 施設調査

病院の緩和ケアの提供体制について、都道府県別および施設種別による違いを明らかにするため、全国のがん診療連携拠点病院434施設の施設長・緩和ケア担当者を対象に、自記式質問紙調査を行った。

### 3) がん対策緩和ケアの評価指標の推移検証と目標値の設定

がん対策緩和ケアの進捗状況を評価する15指標について、可能なデータの更新を行うとともに、研究者間で目標値の設定方法についての検討を行った。

各研究の詳細については、各分担報告に記載した。

### (倫理的配慮)

本研究は、医療者を対象とする調査であり、国立がん研究センターの研究倫理審査の対象外では

あるが、疫学研究に関する倫理指針に従い調査を実施した。

### 3. その他

#### C. 研究結果

##### 1) 医療者（医師・看護師）調査

現在集計中である。

##### 2) 施設調査

現在集計中である。

##### 3) がん対策緩和ケア評価指標の推移検証と目標値の設定

###### ①指標の推移測定

別紙参照

###### ②指標の目標値の設定

研究者間で検討を行った。

指標の目標値の設定については、海外での前例も乏しく、根拠に基づく目標設定が困難な指標が多い。今後も指標の継続的な観察が必要であり、その推移に基づき、検討しやすい「緩和ケアの専門サービスの利用状況」などから目標値の設定を試ることにについて議論を行った。

#### D. 考察

今後も継続して指標の推移を検証する必要がある。また、目標値の設定については、研究者間の検討を踏まえ、目標値の設定が可能な項目については、検討を進めて行く必要がある。

なし

#### E. 結論

今後も継続的な指標のモニタリングを行うとともに、目標値設定について専門家パネル等において、より具体的な検討が必要である。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

なし

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし